

経営比較分析表（令和4年度決算）

広島県 世羅町

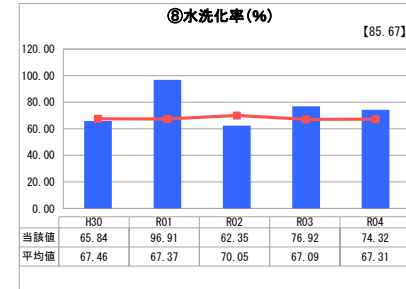
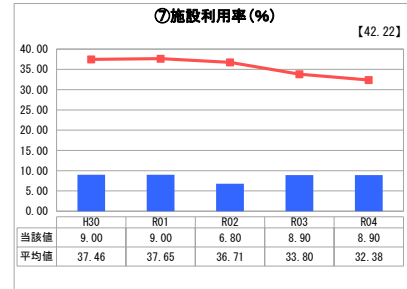
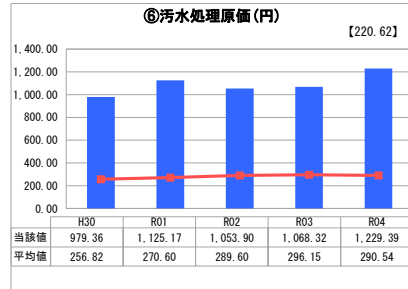
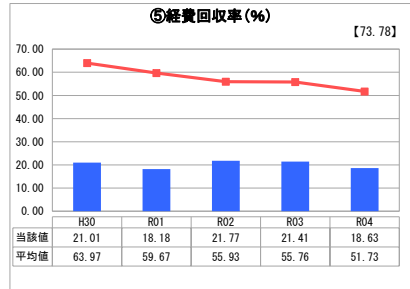
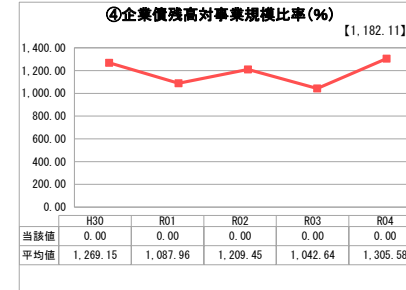
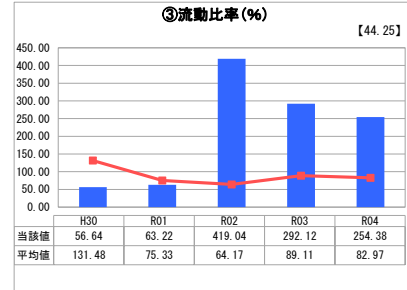
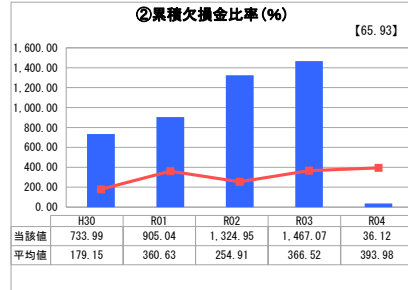
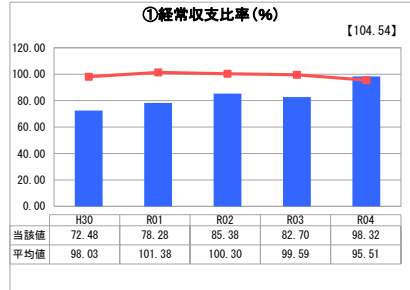
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	82.98	0.98	43.97	4,950

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,167	278.14	54.53
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
148	0.12	1,233.33

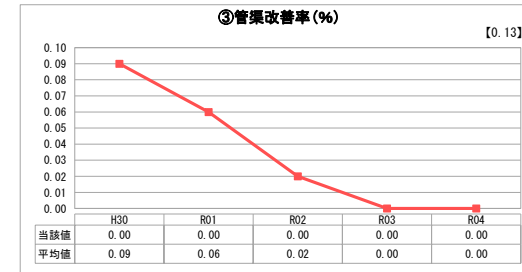
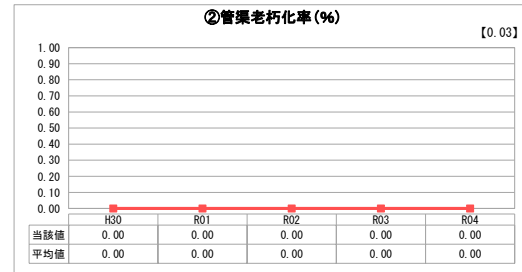
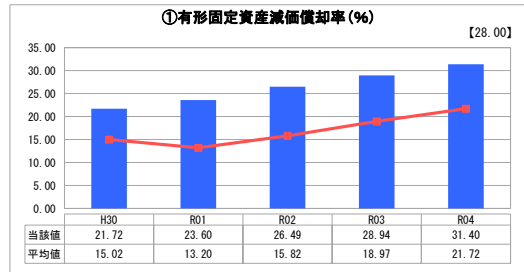
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町の単年度収支は、地方公営企業会計制度の見直しに伴い平成26年度から令和3年度までの建設改良費に充てた企業債等に係る元金償還金に対する繰入金の収益化を特別利益として計上したことにより、経常収支比率は98.32%となり、累積欠損額が減少したため、累積欠損金比率も36.12%となった。

本町の公共下水道事業の処理施設供用開始は平成21年度からで、未だ整備中であることや少子高齢化により当初計画で見込んでいた接続件数が伸び悩んでいる。加えて、供用開始前に合併浄化槽を設置していた件数も多く、新たに公共下水道への接続替えが難しい状況である。

実際に汚水処理を行っている人口の割合を示した水洗化率は74.32%で、全国平均（85.67%）や類似団体平均値（67.31%）となっている。経費回収率は18.63%と低く公共下水道にかかる経費を使用料で賄えていない。

また、営業収益が低いため、有収水量1m³当たりの汚水処理原価は1,229.39円（全国平均：220.62円、類似団体平均値：290.54円）と非常に高額で効率的な汚水処理が行えていないことが分かる。

今後も、引き続き積極的な普及促進に努め、水洗化率の向上を図ることによって健全で効率的な経営が出来るよう努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

本町の特定環境保全公共下水道事業は供用開始は平成21年度からで、事業開始当初に布設して以降耐用年数経過による更新は行っていないため、管渠老朽化率は0.00%である。

今後はいずれ到来する更新時期を見据え、耐震化や長寿命計画等により、経費の平準化を図るなど財政面を考慮した維持管理に努める必要がある。

全体総括

本町の特定環境保全公共下水道事業は、経営の健全性及び効率性を示す指標はいずれも悪く、経営状況は極めて厳しい状況にある。

今後も積極的な普及促進により水洗化率の向上に努め、地方債償還による負担を考慮し、整備済み施設の適切な維持管理を行い健全経営に向け経営の効率化を図っていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。